

## ヨーロッパのクリスマス・マーケット

早くも冬の到来が始まり、寒く、日が短くなるヨーロッパ。旅行に行くには寒くてチョット…と敬遠されがちですが、航空券が安く、冬ならではの楽しみが味わえるのがこの時期です。

街にはイルミネーションが施され、見ているだけでも楽しくなるこの時期。ホットワインを片手に、クリスマス・マーケットに出歩くのはいかがでしょうか？

### クリスマス・マーケット情報

[http://www.go-journey.com/christmasmarket/100/100\\_4/](http://www.go-journey.com/christmasmarket/100/100_4/)

### フランス・ストラスブール

<http://noel.tourisme-alsace.com/en/>

ストラスブールはパリから真東へ約 500km の場所にある街です。TGV を利用し、パリーストラスブール間は 2 時間 20 分で移動できます。

この街が一番賑わうのが、フランス最大級のクリスマス・マーケットが開かれる時期です。モミの木のクリスマツリー発祥の地と言われているストラスブールでは、1570 年から 400 年以上も途絶えることなくクリスマス・マーケットが開催され、毎年多くの観光客で賑わいます。大聖堂前の広場を中心に、ツリーに飾るさまざまなオーナメントやオブジェ、お菓子、ホットワインなどを売るマルシェが立ち並びます。街中にはイルミネーションが輝き、クリスマス一色です。



クリスマス・マーケットの中で人気があるのが、職人さん手作りのオーナメントやオブジェ。オーナメントはガラスで出来ており、お土産で持ち帰るには気を使いますが、色とりどり、かわいいデザインの商品を見ているとつい購入したくなります。

夜になるとますます賑わうマーケット。そのマーケットにかかせないのが、ホットワインです。寒く冷え切った身体を暖めてくれます。アルコールが苦手な方には、ちょっと匂いに抵抗があるかもしれません。

モミの木のクリスマツリーはイルミネーションやオーナメントに彩られ、夜にはなんとも幻想的な光景を見せてくれます。昼間は広場の一角でモミの木が販売され、品定めをしている人をよく見かけました。



広場を出て通りに出ると、その通り独自のイルミネーションで彩られています。一番の圧巻はカラのシャンデリアが通りを飾る通り。上を見上げながら歩くのもこの時期ならではの楽しみです。



歩き疲れて、お腹がすいたら是非「タルトフランベ」をご賞味下さい。



ピザのような薄焼き生地に、玉ねぎ・ベーコン・フロマージュブランをのせて釜で焼きます。四角い形をしていて、木の板にのせて運ばれてきます。また、りんごのスライスをのせて焼くデザート版もあります。「あつあつ」出来たて！シンプルだけど美味しいアルザス地方の料理です。

寒さを忘れ夢中になれるのがクリスマス・マーケット。ヨーロッパの冬の楽しみです。

まずは身近で本場のクリスマス・マーケットを体験してみませんか？

クリスマス文化を日本に伝える為、丸の内にストラスブルのクリスマス・マーケットが来ます。

フランス・ストラスブル

「ストラスブルのマルシェ・ド・ノエル」

12/11(金) ~ 12/25 (金)

東京国際フォーラム 地上広場にて

[http://www.t-i-forum.co.jp/noel/common/pdf/news\\_090910.pdf](http://www.t-i-forum.co.jp/noel/common/pdf/news_090910.pdf)